

未墾地の活用で「つまごい高原キャベツ」の産地形成へ

つまごいむら
【群馬県嬭恋村】

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 夏の冷涼な気候を利用したキャベツの栽培が盛んな嬭恋村では、農地造成によって経営規模を拡大。他作物の導入による連作障害の防止を通じて、より安定的な産地を形成。
- 計画的な生産に基づく加工・業務用キャベツの販売・市場シェアの獲得や、「つまごい高原キャベツ」の商標登録等の新たな取組を推進。

基盤

農地造成による経営規模の拡大と産地形成

未墾地を活用した農地造成による経営規模の拡大を通じて、キャベツの安定的な生産と計画的な出荷が可能となり、「つまごい高原キャベツ」として全国有数のキャベツ生産地※を形成。

※ 収穫量全国シェア：50%
(H27夏秋キャベツ)



造成されたキャベツ畑



収穫作業の様子

基盤整備
(H元年～H13年)

【整備前】

本地区は、浅間山、白根山、四阿山の麓に広がる高原であり、昭和41年に産地指定された夏秋キャベツの生産を経営の柱として発展してきたが、経営規模の拡大によるキャベツの安定供給及び品質向上が課題であった。



未墾地の様子

【取組地域の概要】

- 位置 つまごいむら
群馬県嬭恋村（過疎地域、振興山村）

群馬県

つまごい
嬭恋地区



- 主要作物

・ キャベツ

- 主な支援施策

- ・ 国営農地開発事業 (H元年～H13年)
- ・ 県営農地開発事業 (S46年～S57年)
- ・ 多面的機能支払交付金 (H19～)

生産現場

減農薬等による安全・安心な作物生産

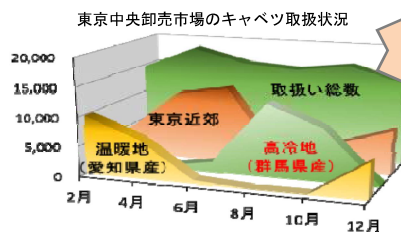


害虫の繁殖を低減させるフェロモン剤
入畜への安全性が高い（矢印）

- 害虫発生を低減するフェロモン剤を使用した減農薬栽培に取り組み、消費者の信頼を確立。

気候を活かした出荷による価格の安定

- 高原の冷涼な気候を活かし、野菜の端境期に計画出荷することにより、農産物の安定供給、市場価格の安定にも寄与している（他産地とのリレー出荷を実施）。



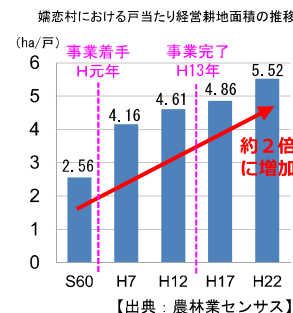
【出典：東京中央卸売市場
青果物流通年報
野菜編（H27）】

他産地と競合
しない夏・秋期の
市場シェアを獲得

加工・流通

経営規模の拡大等による農業所得の増加

- 農地造成による経営規模拡大による生産ロットの確保に加え、減肥料・農薬栽培や競合相手の少ない時期の出荷による販売単価の維持等の工夫により、農業所得の向上を実現。



(万円/戸) 嬭恋村における戸当たり農業所得の推移

